

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	都市景観課長 芳本 俊雄	
まち-09	実施事業	旧華頂宮邸管理運営事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 都市景観課
				関連課
総合計画上の位置付け	分野	都市景観	施策の方針	良好な都市景観形成事業の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	旧華頂宮邸の適正な管理運営を図るため
効果	市民をはじめとする多くの人々が集い、様々な情報を発信していく施設として活用を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

- ・週5日の庭園の一般公開を行うとともに、年4日の建物公開を実施した。
- ・建物等の適切な維持管理と、その費用に充てる施設維持協力金の確保を行った。
- ・地元住民ボランティアと協力し、庭園及び建物の適切な維持管理に努めた。
- ・旧華頂宮邸暫定活用運営会議で策定した「旧華頂宮邸暫定利用の基本ルール」に則り、適切な運用を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,243人 世 帯 数 80,676世帯 事業の対象者数	176,869人 80,928世帯	人 口 176,466人 世 帯 数 81,150世帯 事業の対象者数	176,466人 81,150世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	13,692	当初予算(千円)	14,761	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	2,330	その他	4,801	
	一般財源	11,362	一般財源	9,960	
	人員配置数	1.5	人員配置数	1.5	
事業経費運営	人件費(千円)	11,534	人件費(千円)	11,791	
	総事業費(千円)	25,226	総事業費(千円)	26,552	
	市民1人当りの経費(円)	142	市民1人当りの経費(円)	150	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
	協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 宅間ボランティアの会
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・当面は現状維持とするが、建物の老朽化もあり、耐震改修など大規模維持修繕のほか、庭園の維持管理等の必要経費が今後増大するものと思われる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・関連・類似事業はなく、現在でも管理等は委託するなど、効率的に事業を運営しており、事業費を削減できる余地はない。 ・建物及び庭園の公開に対するニーズは常にあり、豊かな市民生活に寄与していることから、今後も市が実施していく必要がある。 ・毎年多くの来場者を受け入れているが、今後は老朽化が進む施設の維持管理について、更なる努力が必要である。 ・旧華頂宮邸暫定活用運営会議で策定した「暫定利用の基本ルール」を適切に運用し、地域住民と協働しながら実験活用を行うなど、具体的な活用方針の策定に向け、着実に推進している。 ・今後も、地域住民の協力を得ながら、歴史的文化的価値の高い洋風建築物としての活用を図る必要がある。	

